

先端医療センター病院統合及び神戸アイセンター病院にかかる整備について

1. 先端医療センター病院の中央市民病院統合（平成29年11月1日 統合予定）

【方針】

先端医療センター病院を中央市民病院に統合するにあたり、病院関連部分の土地・建物の買取を行うとともに、必要となる医療機器等の整備を行う。

(1) 土地・建物

先端医療センターの所有者である神戸都市振興サービス株式会社（以下、都市振興サービス）から、病院関連部分を買取（区分所有）。また、現在の中央市民病院と先端医療センター病院をつなぐ通路を整備。

【先端医療センターの概要】

敷地面積：11,150㎡、延床面積；22,393㎡、鉄骨造地上5階建

【土地・建物の買取予定価格】

不動産鑑定評価（平成29年8月1日時点）に基づく

土地：1,614百万円（買取範囲66.7%、全体評価額：2,420百万円）

建物：2,622百万円（買取範囲66.7%、全体評価額：3,931百万円）

(2) 医療機器、情報システム

原則、先端医療センター病院の機器を活用（買取または再リース）するが、必要な医療機器については新規購入を行う。情報システムについては必要となる改修を実施。

2. 神戸アイセンター病院（平成29年12月1日 開設予定）

【方針】

神戸アイセンター病院を開設するにあたり、病院関連部分について建物の買取を行うとともに、必要となる医療機器、システム等の整備を行う。

(1) 土地・建物

(土地)

機構が所有（機構の費用負担は発生しない）

(建物)

都市振興サービスが建物（神戸アイセンター）を整備し、竣工後、機構が病院関連部分を購入予定

【神戸アイセンターの概要】

敷地面積：約2,000㎡、延床面積：約8,800㎡、鉄筋造地上7階建

【買取予定価格】

建物：3,218百万円（建設費に基づく）

(2) 医療機器・情報システム

原則、中央市民病院及び先端医療センター病院で保有している機器を移設し、その上でなお必要となる医療機器の新規購入、情報システムの整備を行う。